



## △ 安全に関するご注意事項

爆発性雰囲気でご使用の場合、以下に示す方法で設置および結線作業を行わない場合、爆発による死亡または重傷を負う可能性があります。

### ■ 防爆認定

- ・ Ex d IIC T6
- ・ 労検 TC17543
- ・ 周囲温度：-20～+60℃

### ■ 配線

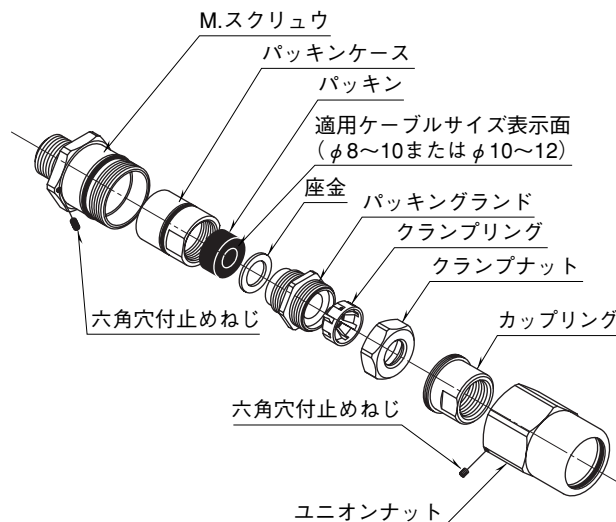
- ・ 配線は防爆電気配線として適合する方法で行って下さい。巻末の「耐圧防爆電気配線図」を参照しながら、「ユーザのための工場防爆電気設備ガイド（ガス防爆）」（旧労働省産業安全研究所編纂）および本取扱説明書に従って下さい。
- ・ 周囲温度が50℃を超える環境でご使用の場合、許容最高温度が70℃以上のケーブルをご使用下さい。
- ・ 耐圧防爆容器内への配線引込は、ケーブル方式です。必ず、本器に付属のケーブルグラントをご使用下さい。
- ・ ケーブルグラントを交換される場合は、必ず下記形式のものをご使用下さい。

ケーブルグラント

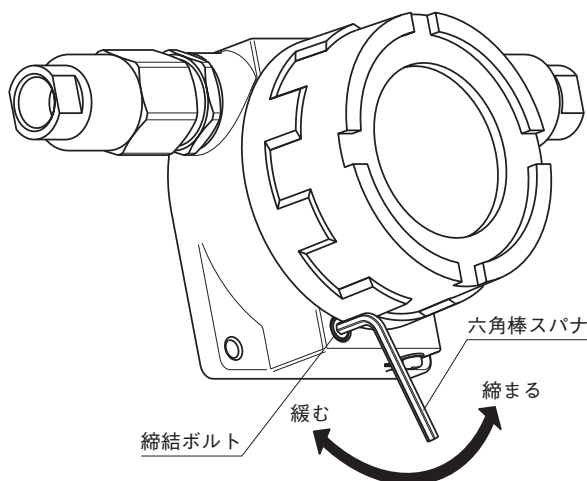
エム・システム技研 形式：BX-E-SXY

（適用ケーブル径：φ8～10およびφ10～12）

- ・ ケーブルグラントは、いずれの配線接続口にも用いることが可能です。
  - ・ ケーブルグラントを用いての配線引込は、次の手順で行って下さい。なお、ケーブルグラント各部件の締付けは、スパナなどの工具を用いて行って下さい。
- ① 同梱されたパッキンの中から、ケーブルの外径に適したものを選択して下さい。パッキンに適用可能なケーブル径が表示されます。
  - ② M. スクリューを電線間接続口に、Oリングが十分に密着するまでねじ込みます。ただし、Oリングがはみ出さないようにします。
  - ③ ケーブルを図の順番で各部件に通します。
  - ④ パッキンケースにパッキンおよび座金を挿入し、パッキングランドをパッキンケースにねじ込んで締付けます。締付け後、ケーブルを手で引っ張り、抜けないことを確認して下さい。
  - ⑤ パッキングランドにクランプリングを挿入し、クランプナットを締付けます。締付けはクランプリングの先端がケーブルシースに接触してから、クランプナットを約1/2回転ねじ込む程度とします。
  - ⑥ 組立てられたパッキンケースをM. スクリューに挿入します。
  - ⑦ 電線保護管をユニオンナットに通してから、カップリングに接続します。
  - ⑧ ユニオンナットをM. スクリューにねじ込みます。
  - ⑨ M. スクリューおよびユニオンナットの六角穴付止めねじを締め込み固定します。



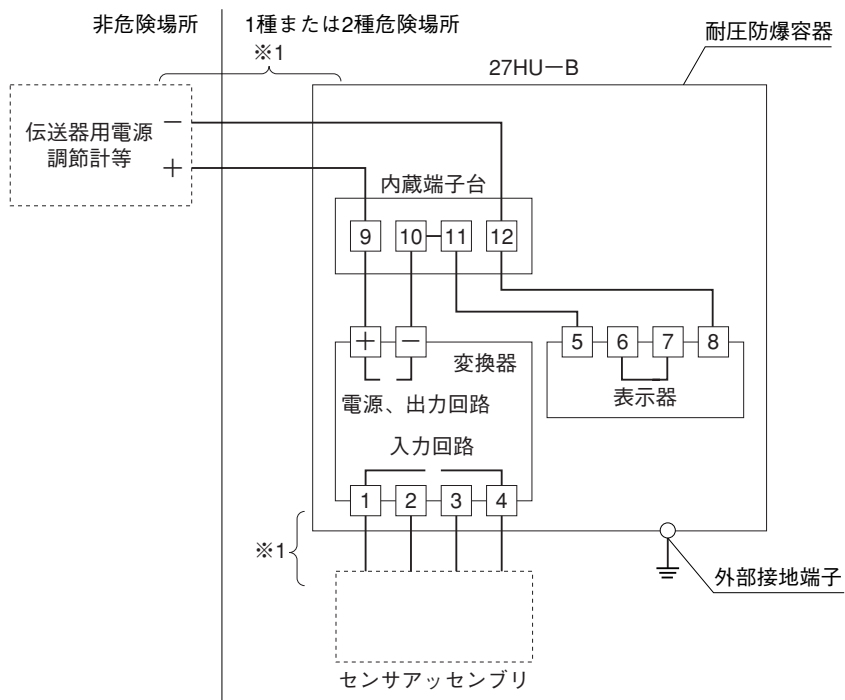
- ・ 電源を投入する前に、ハウジングのカバーを完全に密閉し、図のように六角棒スパナにて締結ボルトを締めて下さい。



- ・ 必ず接地して下さい。
- ・ 外部接地は、圧着端子などを用いて配線が外れないようにして下さい。
- ・ 本器は、ハウジングと表示器および変換器との組み合わせにて耐圧防爆の認定を受けています。表示器および変換器を交換しないで下さい。
- ・ 本器の部品をお客様にて交換された場合、防爆認定条件への適合を損ない、爆発の危険があります。（ケーブルグラントを除く）
- ・ 配線作業中は、水がかからないよう保護して下さい。

耐圧防爆電気配線図

■ 表示器付属の場合



防爆定格

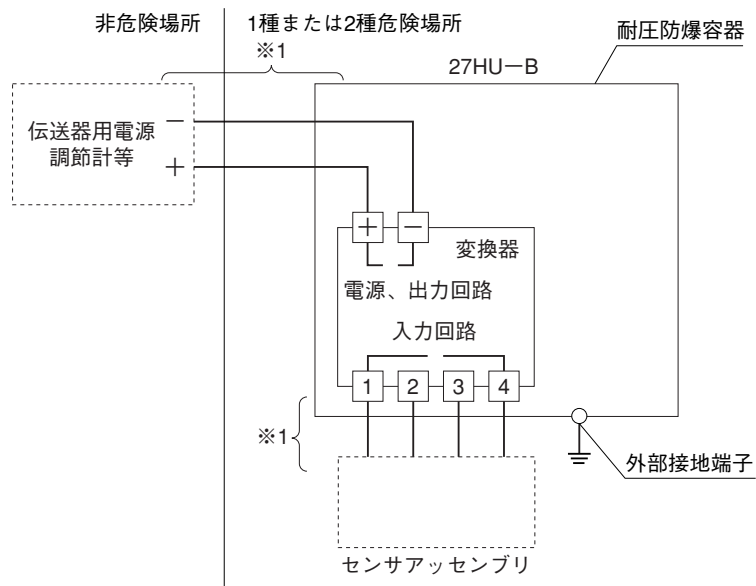
- ・ 電源電圧：DC12～32V
- ・ 出力信号：DC4～20mA
- ・ 入力信号：DC1V以下
- ・ 周囲温度：-20～+60℃

※1、「ユーザのための工場防爆電気設備ガイド（ガス防爆）」に従って配線して下さい。

※2、本器以外の各機器も、それぞれの危険場所に応じて防爆認定を受けた機器をご使用下さい。

## 耐圧防爆電気配線図

## ■ 表示器なしの場合



## 防爆定格

- ・ 電源電圧：DC8～28V
- ・ 出力信号：DC4～20mA
- ・ 入力信号：DC1V以下
- ・ 周囲温度：-20～+60℃

※1、「ユーザのための工場防爆電気設備ガイド（ガス防爆）」に従って配線して下さい。

※2、本器以外の各機器も、それぞれの危険場所に応じて防爆認定を受けた機器をご使用下さい。